

ご挨拶



文学部イスパニア文学科
1973年卒
サピエンチア会
会長 藤本 滝三

深秋の候 ますますご清栄のこととお慶び申し上げます

平素は同窓会活動に格別のご厚誼にあずかり、ありがたく厚くお礼申し上げます。

今回この25号の会報を発行するにあたり前号の24号を読み返しますと全く真逆の内容となっています。皆さんもご存知の通り昨年のホームカミングデイの折、大井学長のご挨拶の中には 看護学部を申請をし、2015年春には新入生の募集を行います。と、まだまだ夢と希望を語って

おられました。しかし今回この25号の会報を発行する段には、既に大井学長は大学を去られ、新学部の設立は夢破れ、このままでは来年の3月以降には閉校への段階と進んでいきます。

次ページの「わが母校における激動のこの7年間」を見ていただきますと、この7年間でローリエットは本学で「何をしたかったのか？」全く脈絡が見えて来ません。

日本の複雑な文科省の申請業務を甘く考え、理解すら示そうともしませんでした。「教育界に黒船来襲」とまで新聞、雑誌に騒がれ、教育界に介入して来た割には余りにもお粗末な結末ではないでしょうか!? 一番の犠牲者は募集停止後の学生達と教職員の方々を含む我々10000名の卒業生です。

私は、ここ数年間の会報、卒業式の祝辞そして創立50周年記念誌までも、ローリエットは大学の教職員、同窓会と3者が一枚岩に成らないとこの難局は乗り切れないと言いつけて来ましたが、結局は最後まで岩は一枚に成ることは有りませんでした。全く口惜しく 残念で仕方有りません。

我々同窓会役員はこの聖トマス大学「旧英知大学」が校舎・グラウンドを切り売りされ、満身創痍のボロボロになって廃校に

なり、何も残らない・・・そんな事態が起こらないようにこの4月以降毎週の様面に会合を重ねてまいりました。校舎・グラウンドを残す方法には沢山の選択肢が有るわけでは有りません。学校法人英知学院と言う名前は無くなりますが万が一、校舎・グラウンドが残った場合にはすぐにも対処が出来るように、母校におられた先生方にも同窓会の特別会員になって頂き(先生方とともに今後、力を合わせて同窓会運営をして頂くために役員会において承認致しました)いつでも誰とでもタッグが組めるように 同窓会組織とは別に役員個人の出資で(一般社団法人)英知学院後援会なる組織を設立致しました。同窓会だけの組織では力が弱い、影響力も小さい、悲痛な我々の声を表に知らしめてゆく。これ以上母校に傷を付けたくない。全卒業生、全教職員、そして地域の住民の方々の方々の言葉を代弁する組織として立ち上げました。

又、校舎とグラウンドが残ったとしてそれをどうやって維持・管理・運営してゆくのか・・・未来に向けた問題は山積みです。それらの問題一つ一つを実践してゆく為の組織でもございます。

今までの様に未来を他人に任せるのではなく、我々卒業生で未来を作ってゆく覚悟でございます。これからも、皆様のご支援とご協力を心よりお願い申し上げます。

今年も11月3日(月・祝)に恒例のホームカミングデイを開催させていただきます。そこではもう少し詳しいお話が出来るのではと思っています。

今年は英知学院聖トマス大学という名の元で開催する最後のホームカミングデイになると思います。会報の送付も資金枯渇の為今回が最後になるかもしれません。皆様のご来校を心よりお待ちしております。

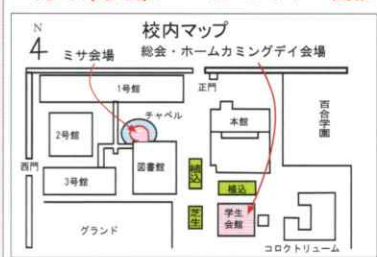
チャペルに於きましても、本学最後の卒業生である多文化共生学科の「王凱倫君」がこの8月17日に亡くなられました。彼を初めとし古くは西文科のアルパレス先生、コラル先生、神学科・英文科・仏文科全ての教職員の方々、全卒業生の物故者の方々のご冥福を皆様と共に祈りをしたいと思います。

2014年11月3日(月・祝) スケジュール

10:00~11:00	卒業生・教職員物故者追悼ミサ	チャペル
11:15~13:00	同窓会総会	学生会館2F
13:30~17:00	ホームカミングデイ	学生会館1F

- * 会費は特に設定をしていません、当日会場にてご寄付をお願い致します。(活動資金不足の為、活動費に充当をさせていただきます。)
- * 今回、駐車場はございません、懐かしい川沿いの道を徒歩にてお越し下さい。

11月3日(月・祝)ホームカミングデー開催





昨年の50周年記念式典・総会・ホームカミングデイ

昨年は、追悼ミサ、50周年記念式典・パーティー、同窓会総会・茶話会と多彩な催しがありました。今年も？ 来年は？



<重要なお知らせ>

1. 総会の出席と委任状送付についてのお願い
今回の総会では、重要な決議をお願いすることになっています。万障繰合せの上、是非ご出席ください。ご欠席の場合は、必ず委任状をお送りください。できますなら、同封の委任状の裏面にご意見、ご要望、連絡事項等を奇譚なくお寄せいただくと幸いです。
2. ホームカミングデー出席連絡のお願い
準備のため、出席される方はお手数ですが、メールにてお知らせいただくと助かります。当日の飛び入り参加も歓迎しますが、できるだけご連絡いただきますようご協力をお願いいたします。
連絡先メールアドレス：jimukyoku@sapientiakai.com



3. 会報「SAPIENTIA」の発送について
会報を皆様にお届けするには、約70万円近く必要です。大学からの援助がなくなると、会報を皆様全員にお届けすることが不可能になります。そのため、以前よりお願いしています通り、2015年度より会報はホームページに掲載することを基本とさせていただきます。会報の個別送付は委任状をご返送いただいた方、寄付をお寄せいただいた方、ホームカミングデー当日に参加された方に限らせていただきます。会報の送付をご希望の方は、委任状へのご記入、ホームカミングデー当日に受付でお申し出ください。何卒、ご理解とご協力のほどお願い申し上げます。



サピエンチア会ホームページ

<http://www.sapientiakai.com/>
<http://facebook.com/sapientiakai>

<編集後記>

この夏は日本各地で今までに経験したことのない大雨による大きな災害が発生いたしました。皆さまの地域は大丈夫でしたでしょうか？

さて、今年も何とかこの「SAPIENTIA」を皆さまにお届けすることができ、ほっとしています。今回で第25号です。これまでとは趣を大きく変えて、先生方にも原稿を依頼しました。先生方は急な依頼にも関わらず、快く原稿をお寄せいただきました。先生方の対応の速さに編集人として驚きとともに感謝申し上げます。さらに、皆様から頂きました「近況報告」を出来る限り掲載しました。読後のご感想はいかがでしょうか。懐かしい学生時代を思い出して頂ければ幸いです。紙面の関係上、お送り頂きました皆様全員のご報告を掲載できなかったことをお許し下さい。それでは、11月3日(月)のホームカミングデーで皆さまにお会いできますことを楽しみにしています。末筆ながら、皆さまのご健康とご多幸をお祈りしています。